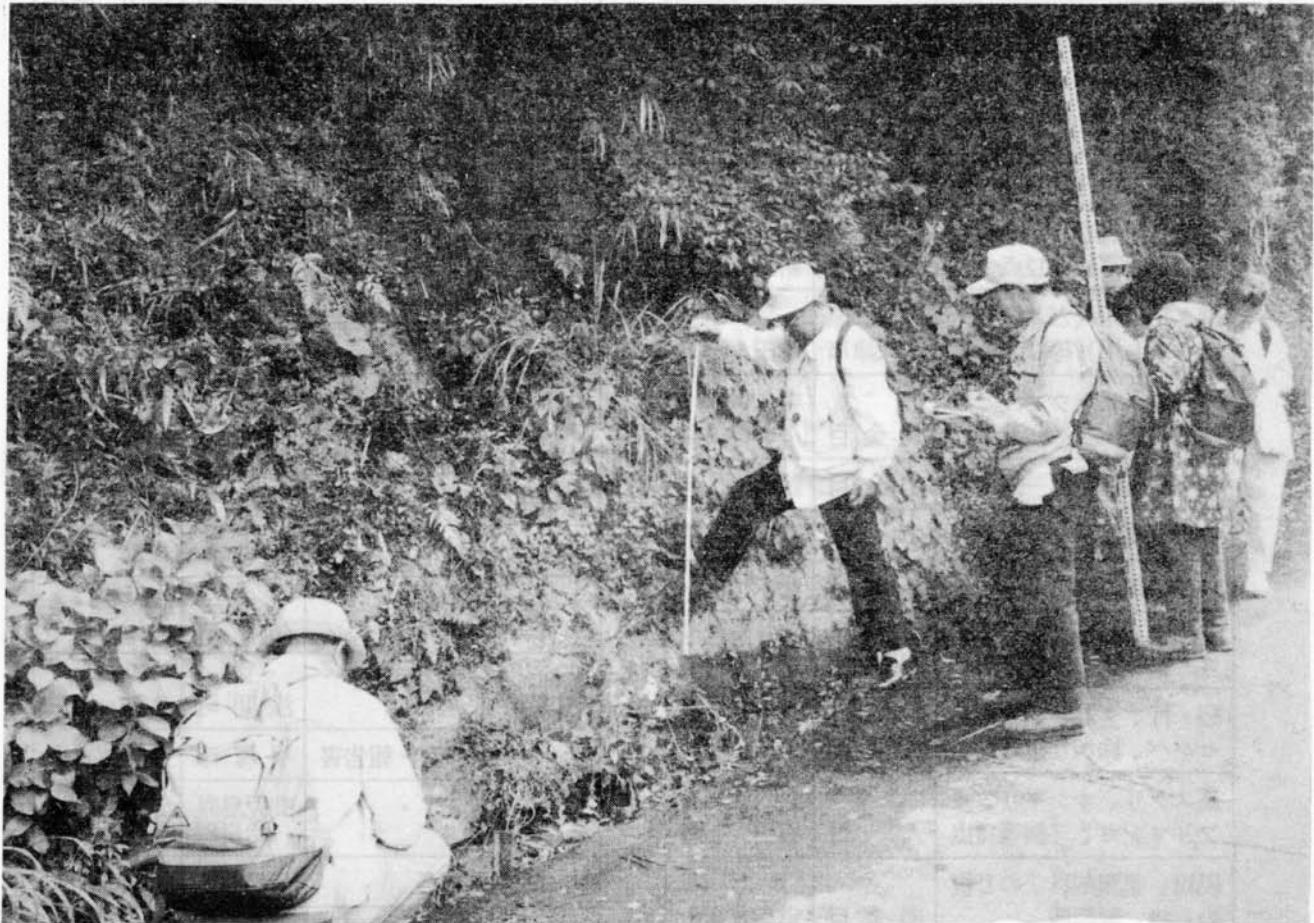




あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'95 6月号



野外での断層調査-第1回-（千須谷）

-新規事業紹介-
《地質部門》

『地質調査会』

■博物館では、地震に対する平塚市域の地盤を把握するため、今年度から新たに市民調査として「地質調査会」を始めました。この会の目的は、一つは平塚市周辺地域の丘陵で活断層の分布図を作り、その変位量などを調べることであり、もう一つは平野地域で博物館所蔵のボーリング資料から液状化分布図や軟弱地盤分布図を作成しようというものです。既に4月から活動を開始し、野外では断層の位置を確定する調査を、室内ではボーリング資料の解析を始めました。今後月に3日のペースで実施していく予定です。会員は「相模川の生き立ちを探る会」会員の中の有志で構成されています。1年間の活動を通じて、その成果をまとめ、展示などで公表していきたいと考えています。

参加者の声：

■この調査会の仕事は、平塚市周辺の断層の分布のチェックと市内各地点の地質、特に液状化の発生する可能性のチェックという二点で、防災上有効なデータを提供することができるだろうと思います。（加藤正視）

■阪神大震災の街・港・河岸などの被害は、その地質に

影響されていることを多くの写真で知りました。市域の史料には元禄16年の地震で平塚が液状化した様子が記録されており、土質的なことが知りたいと思い参加しました。市内の液状化の予想箇所を平面的に捉えられ、それと史料からの時代的側面とを重ね合わせてみることができればと考えています。（山崎孰子）

寄贈品紹介

●昨年の10月以降に寄贈された資料を紹介します。展示をはじめ、博物館活動はたくさんの寄贈資料から成り立っています。今後もご協力をよろしくお願ひします。なお、敬称は略させていただきました。

<考古資料>

塚越古墳・万田貝塚・下高根横穴発掘調査資料等	松風町	日野一郎
石製品	二宮町	熊澤八郎
石製品(石棒)	董平	加藤春雄

<民俗資料>

蚊帳、二重マワシ、行李	幸町	富田明夫
裁縫箱、鏡台、かつら、絣台、謄写版等12点	花水台	新山章一朗
継ぎ竿1組(どぶ釣り・ころがし用)等9点	滋賀県 大津市	亀田泰武
庚申講オヒョウゴ・膳椀一式	北金目	中久保 庚申講中
桐下駄製作用具一式	南金目	諫山進
打掛け、丸帯	中原	真島美恵子
火鉢、鉄カブト	纏	鈴木吉一
庚申講・地神講オヒョウゴ・膳椀・帳簿類等	四之宮	通り町庚申 ・地神講中
臼・杵、クルリ、ツブテ センバ、株切り鋤等46点	真土	伊藤日出司
藁スグリ、オシギリ、 フリマンガ、斗柄等18点	入野	石田隆
硯箱、薬調剤具、のし板 のし棒、製麵機	南金目	宮田友富士
徳利、火鉢	広川	窪田輝夫
古新聞 (大正から昭和初期)	千葉県 船橋市	吉川代之助
商店看板、香典帳、銚子 焼印、餅搗き臼等39点	長持	神部禎夫

<学校教育資料>

伝統こけし・木地玩具・ 工人直筆色紙等105点	御殿	本間満
----------------------------	----	-----

ちょっと待って!家の建て替えや物置、蔵の整理の際にでてきた不用なものは捨てる前にぜひ博物館までご一報を。郷土の歴史を物語る貴重な資料としてよみがえることもあります。

<生物資料>

クイナ等鳥類7点	松田町	津山登志子
キジ	厚木市	福田伸夫
ハマズズ等9点	大井町	酒井春彦
キジバト等3点	徳延	伊川真理
ゴイサギ	長持	片倉義人
コサギ	大磯町	外川一實
コゲラ	出縄	五明和子
トラツグミ	大磯町	府川龍三
カワラヒワ		原田
ムクドリ	横浜市	秋元文雄

<地質資料>

ボーリングコア・報告書	平塚市	建築課
竹森産水晶標本	横浜市	梅沢俊一
オパール原石 (白亜紀産)	高村	浜口哲一
インドネシア産貝類、珊瑚	浅間町	生駒国一
ボーリングコア・報告書	平塚市	道路建設課
アカホヤ・A.T.・ 薩摩火山灰	鹿児島県 姶良郡	東和幸
和田峠産黒曜石	伊勢原市	上原正人
化石標本		高木俊男
阪神大震災写真	藤沢市	馬場俊和
阪神大震災写真	ふじみ野	土井浩
阪神大震災新聞記事 (読売新聞)	中井町	家入真理子
阪神大震災新聞記事 (毎日新聞)	代官町	富田和代
阪神大震災新聞記事 (日経新聞)	ふじみ野	丸田幸典
沖積層中の木片・土器等	平塚市	下水道建設課
貨幣石		中川重年
バラ輝石他鉱物10点	大磯町	鷹宏道

調査員募集 -'95 身近な生きもの調査《セミ》-

◇環境庁主催の「第5回緑の国勢調査 '95身近な生きもの調査」に参加し、自分の家の近くの公園や林でセミのぬけがらや鳴き声について調べ、結果を報告します。

- '95身近な生きもの調査 今年のテーマは「セミ」
- 「身近な生きもの調査」が始まります：1984年と1990年に行われた「身近な生きもの調査」。3回目の調査が今年から始まります。今回から年ごとにテーマを決めて、3年間にわたって行います。今年のテーマは「セミ」。学者や専門家だけでなく、多くの国民の皆さんに参加していただくことにより、皆さんの住む町や地域、さらには日本全体の自然を診断する重要なデータを得ることができます。多くの方々の参加をお待ちしています。
- セミの「ぬけがら」を集めてください：セミの「ぬけがら」はたくさんのことがらを教えてくれます。たとえば、「ぬけがら」があるということは、その種類がその場所の近くで幼虫時代をすごしたことの確実な証拠になります。日本に生息しているのは多くても10種類以内ですから、名前を調べるのはそれほどむずかしいことではありません。それに、「ぬけがら」はセミにとってはいらなくなつた殻ですから、いくら集めてもセミに迷惑をかけることはありません。
- 鳴き声を聞き分けてください：ミーンミーン、ジー・ジー、カナカナ、ゼームゼーム、ツクツクオーシなど、セミの鳴き方は千差万別。あなたの耳で確かめてください。鳴き声が聞き分けられれば、あなたの身の回りに何種類のセミが生息しているかがわかります。
- セミと皆さんのかかわりを教えてください：子供の頃、夏休みになると捕虫網片手に一日中、セミ捕りに

熱中した思い出はありませんか。セミはカブトムシやクワガタムシと同様、子供たちにはとても人気がありますし、俳句や短歌にも数多く登場するなど、私たちにたいへんなじみ深い虫です。セミにまつわる話、例えばどんな名前で呼ばれているか、セミの声がとてもよく聞こえる場所、セミに関する体験など、セミとあなたのかかわりを教えてください。

■お手元に届いた調査結果から、身の回りの自然について考えてください：調査に参加いただいた皆さんには、全国の分布図や皆さんの身近な地域の情報などを盛り込んだ調査結果（報告書）をお届けします。調査結果をご覧になって、皆さんの身の回りの自然や環境の変化について考えてみてください。

■緑の国勢調査とは：環境庁が実施する日本の自然に関する総合的な調査で、正式には「自然環境保全基礎調査」といいます。全国の植生や動植物の分布、海岸や河川、湖沼の改変の状況などが調べられており、「身近な生きもの調査」もその中の一つとして行われています。（第5回緑の国勢調査案内パンフレットより）

- 開催日：①7月9日（日） 13:00-15:00
• ガイダンス（博物館科学教室）
- ②8月16日（水） 9:00-12:00
ぬけがら調べ（湘南平方面）
- ③9月3日（日） 13:00-15:00
まとめ（博物館科学教室）

■〆切：6月末日・往復はがきで
「博物館：みんなで調べよう」係まで。
<家族参加の場合は1枚で>

◎小中学校のクラブや部活動単位等で御協力いただける場合は、博物館学芸係まで御連絡ください。

全館くん蒸のための『休館』について-お知らせ-

■燻蒸とは？

博物館では、毎年一度この時期に全館を休館して博物館収蔵の資料や展示資料の消毒を実施しています。この一連の作業を燻蒸<くんじょう>といいます。これは、博物館に収蔵されている大切な資料を害虫やカビから守るために行っているものです。

■なぜ燻蒸なのか？

消毒というと、一般に液体薬剤の散布を連想します。しかし、資料そのものに薬液がかかってしまったらどうなるでしょう。資料に薬の害を与えずに、有害な生物から資料を守り、できるだけ現状を維持し長期にわたり保存する必要性から、薬剤として気体であるガスを用います。このため博物館では、メチルプロマイドとエチレンオキサイドというガスを混合したエキボンという燻蒸剤を用いて害虫・カビの駆除を行っています。また、この6月は害虫がふ化する時期なので丁度

都合のよい時なのです。薬剤としては、資料に薬害を与えないこと、拡散性や浸透性がよいこと、引火性がないこと、人畜に対して毒性が低いこと等の点からこの薬剤を使用しています。

■資料の害虫とは？

博物館の資料の多くは、紙・木・布等からできており、害虫やカビ等に侵され易い物です。害虫にはシロアリ・キクイムシ・カツオブシムシ・アリ・ゴキブリ・イエバエなどがあります。他にカビ・細菌・地衣類・木材腐朽菌・木材変色菌というものもあります。こうした生物により、資料は腐ったり生物の分泌物や糞により汚損・変色したりしてしまいます。こうした有害な生物から資料を守るために博物館では、資料をしまっておく部屋（収蔵室）だけでなく、展示室も含めて館全体を燻蒸しているのです。

休館→ 6月6日(火)~15日(木)まで

■博物館カレンダー■

6月の行事予定

3	土	地質調査会（館内）
6	火	全館くん蒸のため休館日<至15日>
11	日	地質調査会（野外）
15	木	全館くん蒸のため休館日
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 天体観察会「星座を覚えよう」
18	日	古代遺跡を探す会
21	水	地質調査会（館内） 裏打ちの会
24	土	◎漂着物を拾う会（平塚海岸） 古文書講読会
25	日	相模川の生い立ちを探る会 「わさび田と断層線・愛川町」
30	金	月末休館日

7月の行事予定

1	土	地質調査会（館内）
8	土	◎漂着物を拾う会（平塚海岸） 古文書講読会
9	日	地質調査会（野外） ※みんなで調べよう「平塚のセミを調べよう」（ガイドンス）
12	水	地質調査会（館内）
15	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 夏期特別展開催<至：8月30日>
22	土	古文書講読会
23	日	相模川の生い立ちを探る会 「宝永火口を見る」（富士山宝永山） 天体観察会「木星を見よう」
25	火	博物館実習ガイダンス
26	水	※第1回夏休み自由研究相談会
27	木	※自然観察入門講座「貝化石を調べよう」 ◎星を見る会「夏の星を見よう」
28	金	※自然観察入門講座「貝化石を調べよう」
30	日	古代遺跡を探す会
31	月	月末休館日

◎は参加自由 ○※は申し込み制 他は会員制

行事に関するお問い合わせは、平塚市博物館 管理係・学芸係 0463-33-5111 まで。

寄贈品コーナー：5/2~6/4 人文・自然部門展示
「新資料紹介」

6/16~7/14 生物部門 「セミ」

今月のプラネタリウム一般投影

投影内容：「地球をかすめる小惑星」

投影期間：5月6日(土)～7月9日(日)

投影日：毎週土・日曜日 観覧料：100円

投影時間：①11:00 ②14:00 定員：86名

■漂着物を拾う会 ■

◇海岸に打ち上げられた動物・植物・人工物を集めて調べます。

■開催日：6月24日（土）<第4土曜日：学校休業日>
7月 8日（土）

■時間：9:30～15:00

■場所：平塚海岸・博物館科学教室

■集合：花水川河口平塚側ともと記念碑前

■参加：自由

募集 ◆自然観察ゼミナール「野鳥の行動入門」◆

◇鳥はいったい何をしているのか？鳥の行動に着目し野鳥を観察します。室内での講義1回・野外での観察2回・全3回のゼミナールです。

■開催日：①7月 1日（土）午後<博物館：講義>
②7月 15日（土）午後<相模川：観察>
③9月 16日（土）午後<花水川：観察>

■参加：往復はがきで「博物館：自然観察ゼミナール」係まで。
<家族参加の場合は、1家族1枚>

■〆切：6月25日（日）

調査員募集 ◆みんなで調べよう「平塚のセミ」◆

◇環境庁の「身近な生きもの調査」に参加し、自分の家の近くの公園や林でセミのぬけがらや鳴き声について調査し、報告して下さい。ガイドンスを行いますので、誰でも参加できます。

<詳しくは、本誌P3をご覧下さい>

全館くん蒸に伴う休館についてのお知らせ

下記の期間休館します。

6月6日（火）～

6月15日（木）まで

あなたと博物館 20巻3号 通巻220号 03000 発行 平塚市博物館
〒254 平塚市浅間町12-41 TEL: 0463(33)5111 FAX: 0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています